



# あしべつ

# 市議会だより

2018年  
11月1日  
No. 9

芦別市議会ホームページ <http://www.city.ashibetsu.hokkaido.jp/gikaijimu/gikai.html>

10月2日、市立芦別病院の経営健全化と行財政改革について市の理事者と意見交換を行うため、全員協議会を開催し、活発な議論が行われました。



## 主な内容

- ◎ 9月定例会一般質問…………… 2～6ページ
- ◎ 9月定例会の議決結果…………… 7ページ
- ◎ 地域防災について…………… 8ページ

道は今後、平成32年4月の開校に向けて、カリキュラムの決定、地域や産学官との連携・協力体制の構築、必要な施設の整備などを着実に進めていくとされていることから、本市においてもこれにしっかりと対応できるよう準備を進めなければならないと考えておりますし、同時に、私ども市議会は、地域振興のために今後ともしっかりと職責を果たしてまいりたいと決意を新たにしているところであります。

この林業大学校誘致に関しましては、9月に道がまとめた基本計画案によると、学校教育法に基づく2年制の専修学校で、定員は1学年40人とする事として、既に市民の皆さんがご承知のように旭川市に本部機能を置くほか、本市、美唄市、下川町の3市町に講義拠点、道央、道北、胆振・日高、道南、オホーツク、十勝、根室・釧路の道内7地域に実践実習拠点を設けることを盛り込んだほぼ道内全てを網羅する総花的な計画案となっており、これについては、全道各地で林業・木材産業の実践力を身に付け、地域に根差した人材を育成するためには、地域の特徴を生かした実践実習やインターシップなどを実施することが不可欠だとしています。

10月8日から12日まで林業大学校誘致等に係る御礼・挨拶のため、坂田誘致期成会会長らと共に兵庫県立森林大学校、京都府立林業大学校、岐阜県立森林文化アカデミー、京都府綾部市などを訪ねました。



議長 動 静

芦別市議会議長 日沼 昇光

9月定例会一般質問



創政会  
田森 良隆 議員

有害鳥獣対策について

**質問** この先どのような有害鳥獣対策を考えているか伺う。

**答弁** 平成28年度から30年度までとする「芦別・赤平広域鳥獣被害防止計画」により、捕獲計画の達成に向けた取り組みを実施しているところであり、今年度中に見直しを図り、さらなる対策を推進していきたいと考えています。

**質問** 捕獲したシカ肉の処理・活用方法と商品化に結びつける方策について伺う。

**答弁** 本市の地形条件では、捕獲場所によっては搬出に必要な捕獲数が不安定であることから、処理施設の設置は考えていません。現在、浦臼町で処理施設設置の計画があり、必要に応じて協力していきたいと考えています。商品化

9月定例会市議会では、一般質問が行われ、10名が立ちました。それぞれ要旨を掲載しています。なお、会議録は図書館、市内各コミュニティセンターで閲覧できるほか、市ホームページに掲載しています。

については、エゾシカはペットフードの原料として活用されており、林業部門の地域おこし協力隊員が商品化に成功したことから、今後、生産量や販路を拡大し、地域ブランドとしていくための支援や協力をしていきたいと考えています。

スポーツ振興基金を含めた基金のスリム化について

**質問** スポーツ振興基金見直しの進捗状況について今まで議論してきたが、決してスポーツ環境は良いとは言えない。子どもたちのためにも市として応援すべきであり、家庭の負担軽減のため基金活用の枠を広げるべきではないか。

**答弁** 現在、体育協会と協議を詰めているところであり、少しでもハードルを下げ、早急に使いやすいよう枠を広げるように検討していきます。

質問

行財政改革で事業の縮小・削減・廃止等は当然必要で、そのために基金を活用しているが、特定目的基金を集約しスリム化する考えはないか伺う。

答弁

現在も一般財源の抑制を図るため、可能な限り

特定目的基金を充当して事務事業を実施しています。基金をスリム化して活用するうえで柔軟に対応できる仕組みを作ったうえで、基金条例の改正案を提案させていただきたいと考えています。



市民連合議員団  
小川 政憲 議員

平成30年度普通交付税の本算定結果について

**質問** 基準財政需要額の個別算定経費及び包括算定経費における大幅減の特徴的な費目について伺う。

答弁

個別算定経費のうち、小中学校費における児童生徒数の減、生活保護費における受給者数の減、清掃費における広域圏衛生施設整備費の起債償還の算定年限終了による減少等により、前年度決定額対比で5036万円減少しました。包括算定経費では、標準的条件を備えて地方行政を行う場合また

は標準的な施設を維持する場合の経費を基準とする費用を「単位費用」（人口と面積）として用いて交付税を算定しており、その単位費用の減により、需要額が前年度決定額対比で3690万円減少したものです。

質問

今年度で廃止された地方財政計画における「歳出特別枠」の代替メニューとされた公共施設等の老朽化対策他に対応する歳出枠に上積みされた「公共施設適正管理推進事業費」（償還金の一部が交付税算入あり）のメニューにある「市町村役場機能緊急保全事業」の活用について伺う。

答弁

庁舎建替えを対象とする本事業分は、平成32年度までの時限措置であり、これから庁舎建替えを実施するとしても平成32年度中に事業が完了しなければ対象とならないため、本市と同じ状況にある自治体と協力し、市長会等を通じて制度の延長について要請してまいります。

観光振興計画の進捗状況について

質問

「星の降る里ブランド」の再構築の検討・協議の進捗状況について伺う。



**答弁**

計画策定過程においてさまざまな人たちから「星の降る里」への愛着や市外での知名度などが明らかになったため「星の降る里・芦別」の進化をコンセプトとした。ブランドの再構築に向け、市、観光協会、民間団体などと協議してきた結果、芦別温泉スライイトホテルで毎日開催される「スターウォッチング」や7月31日に開催された「超・火星まつり」等につながってきていると考えており、着実に進行しているものと認識しています。



党 明 公  
議員 博子 吉田

**市民の食品ロス削減に挑戦し始める環境づくりについて**

**質問**

本来はまだ食べられる状態の食べ物が廃棄されてしまう「食品ロス」が日本で発生する量は646万トといわれ、そのうち約半分が家庭から発生している。そこで、食品ロスの削減方法の指導や啓発を行うセミナーを開催

し、市民の食品ロス削減に挑戦し始める環境づくりをしていくべきと思うが、これについて考えを伺う。

**答弁**

ご提言いただいた啓発効果の高い食品ロスの削減方法の指導や啓発セミナー等の開催について関係機関との協力をいただき、実施内容を検討したうえで開催に向けて準備を進めていきたいと考えています。

**乳幼児健診の取り組みについて**

**質問**

小児の死亡原因の第一位は小児がんとなっている。そのがんの中で「網膜芽細胞腫」という目のがんがある。早期発見であれば抗がん剤治療等によって、眼球摘出を免れる場合がある。網膜芽細胞腫はある程度進行すると「白色瞳孔」や「斜視」の症状に現れる。本市の乳幼児健診の目の項目に「白色瞳孔」や「斜視」を追加して網膜芽細胞腫の早期発見につなげる取り組みをしていただきたいが、考えを伺う。

**答弁**

本年9月以降に実施する3、4か月児健康診査の問診票において、新たに「目つきや目の動きがおかしいのではないかと気になりますか」という「斜視」に関する項目を追加することも

7、8か月児健康相談及び1歳6か月児健康診査の問診票においても新たに、「瞳が白く見えたり、黄緑色に光って見えたりすることがありますか」という項目を追加し「白色瞳孔」の有無を確認し「網膜芽細胞腫」の早期発見につなげていきます。



日本共産党  
議員 邦男 松井

**集中改革プラン推進にあたっての市民対応について**

**質問**

管内市町で芦別のような財政健全化計画の取り組みを進めているところはあるのか、他のマチにない芦別特有の深刻な財政の背景を伺う。また、市民の理解と協力を得る説明会など対応が必要と考えるが、市長の考えを伺う。

**答弁**

管内で財政再生計画を策定しているのは夕張市を除いては滝川市のみで、計画期間は、27年度から31年度までの5年。芦別特有の財政背景は、収入ではこの3年間で、市税及び地方交付税が

**住宅改修促進助成事業の継続について**

**質問**

住宅改修促進助成事業の継続を求め、①道内での実施及び廃止状況②事業登録の施工業者及び下請け業者数、事業施行から12年間における工事件数、総事業費と市費補助金の総額を伺う。この事業について、地域循環経済や活性化への役割、評価を伺う。

**答弁**

全道35市のうち、芦別はありませぬ。事業登録は33業者で、下請けは登録と重複するが、平均延べ約140業者が改修工事に携わっ

であり、12年間の延べ工事件数は約920件、総事業費は約16億1千万円、市費補助金は総額で1億8千万円となっております。市内建設産業の振興及び雇用の安定を図り、地域経済の活性化に寄与しているものと評価しています。

**市と旭川医大との連携協定に基づき取り組みについて**

**質問**

生活習慣病予備軍化している子どもへ早期対策の子ども健診実現に向けて、スポーツ振興で連携の旭川医大に理解と協力を求める積極的な対応を伺う。

**答弁**

子どもに対する健康の動機付けや生活習慣の見直しは必要であるが、大学からの協力が得られるか、関係部署と連携しながら大学と協議していきます。



会 政 風 会  
樋坂 直紀 議員

**市の防災について**

**質問**

ペットとともに避難できる避難所を設置する考

**答弁**

えについて伺う。ペットと一緒に同行避難された場合、動物アレルギーを持つ避難者の方もいると考えられることから、ペット用のスペースを別に設けるなど臨機応変に対応していきたいと考えています。

**質問**

災害用救助物資はどこかの避難所に備蓄しているのか、計画的な備蓄をしているのか伺う。

**答弁**

現状災害用救助物資は各避難所には備蓄していませんが、土のうは、旭町の旧高齢者生きがいセンター、土のうを除く備蓄品は、旧消防庁舎内倉庫及び市庁舎裏の倉庫に備蓄しています。災害のケースによっては、避難所へ運搬できなくなる可能性もあることから、他市の状況などを参考にし、備蓄を分散した地域ごとの拠点について、研究していきます。また、物資の購入については、備蓄管理するリストに基づき毎年度予算計上をして購入していますが、必要に応じて、充実を図ることとしています。

**質問**

芦別市全体で防災訓練ができないのか伺う。

**答弁**

全避難所を同時に開設し、給食訓練まで行う訓練につきましては、現実的に難しい

と考えます。地域の避難所に避難だけをしてもらうだけの訓練につきましては、町内会や地域の協力を得ながら実施できないか研究していきます。

**質問**

災害が起きて停電になっても、防災メールを配信できるようにする考えについて伺う。

**答弁**

9月6日に発生した北海道胆振東部地震の際に、本市のサーバーがダウンし、使用できなくなったことを踏まえ、今後、停電時の電源の確保を含めた運用方法のみならず、新たにSNSの活用についても検討していきます。



会 政 風 会  
北村 真 議員

**行財政改革について**

**質問**

市長がめざす芦別の将来像「豊かで住みよい文化の輝くまち」の定義について伺う。

**答弁**

「豊かで住みよいまち」とは市民一人ひとりが心に豊かに暮らし、幸せを実感できるよ

う市民の安心安全を基礎に芦別に住み続けたい、住んで良かったと実感できる心豊かな郷土づくりをオール芦別でつくり上げていくことと認識しています。このために、真に必要な市民サービスを見極め、人にやさしいまちづくりを目指していく必要があると考えており、子育て支援の加速や教育の充実、経済の活性化等、そして行財政改革推進などの政策を重視していきます。「文化の輝くまち」とは、にぎわいのあるところに必ず文化があると言われるので、人の元氣、まちの元氣につながる文化の振興はまちづくりに不可欠なことと受け止めています。このため市民文化を育て生かしていくことで、まちに輝きを持たせ、地域の活性化が図られるよう、市民と行政が一体となって取り組み、まちづくりを進めたいと考えています。

**質問**

9月議会で行財政改革についての審議を行わなかった場合の今後の具体的な日程と変更に至った経緯について伺う。

**答弁**

8月に開催された総務常任委員会での議論に加え、病院事業の経営悪化が露呈するなど大きな状況の変化も生じたため、これらの内容のご説明と合わせ、逼迫した状況にご理解をいた

きながら議論を重ねていく必要があると判断したことから、改革プランに関する案件について今議会での提案は見送らせていただきました。今後、市立声別病院の経営状況、財政収支見直しについてお示しすることにも、早期に対応策を練り直し、これを改めて議会や市民の皆様にお示しし、ご意見等をいただきながら改革プランを練り上げていきたいと考えています。



会 風 政  
大 鎌 光 純 議員

行財政改革の推進について

質問

指定管理者の対象となる具体的な施設について、また、指定管理者制度に関する指針の策定について伺う。

答弁

対象となる具体的な施設につきましては、市民会館・青年センター・図書館・総合体育館ほか各種社会体育施設、星の降る里百年記念館、子どもセンターを考えています。また、指定管理者制度に関する指針は策定をしていま

せんが、指定管理者の指定にあたっては、芦別市公の施設に係る指定管理者の指定の手続等に関する条例及び同規則に基づき進めているところであり、個々の持つ特性や機能に応じて、協定書を交わすとともに、業務内容の詳細等については仕様書を定めるなど、指定管理者制度の円滑な運用に努めているところです。

質問

スターライトホテル及び市営住宅等への指定管理者制度導入による効果とデメリットについて伺う。

答弁

スターライトホテルにつきましては、芦別振興公社から民間企業へと指定管理者が変更になったところですが、効果としては収支均衡の経営状況に近づいてきたこと、顧客サービスのためのさまざまな改修がスピーディーに行われていること、スターウォッチングなどのイベントやサービスが日々行われていることなどが、現時点において特にデメリットはないものと受け止めています。市営住宅等における効果につきましては、直営での経費と委託料を比較して300万円強の経費の抑制が図られたこと、住宅係職員が現時点において2名減員になったこと、居住者の評価として「修繕対応が早くなった

た」、「窓口の開設時間が午後6時までとなり便利になった」などがあり、特段デメリットは生じていません。



新 星 ク ラ ブ  
石 川 洋 一 議員

芦別市観光ガイドについて

質問

平成29年4月より芦別市の観光ホームページが作成、公開されているが、更新作業などはどの部署が担当しているのか伺う。

答弁

観光ホームページの管理・運営・更新については、観光協会に委託しており、市として必要な情報は商工観光課を通じて掲載を依頼しています。

質問

イベント及びイベントカレンダーの掲載方法及び市外で開催するイベントの掲載について伺う。

答弁

イベントについては、開催時期に合わせて、そのイベントが最初に表示されるように観光協会職員がその都度構成を編集して掲載しています。

質問

グルメ&ガタンのページでは、掲載されている65店舗のうち、53店舗が写真、店舗詳細が掲載されていない。今後の更新について伺う。

答弁

ホームページを公開した時点において、順次掲載をしていく予定でしたが、芦別観光協会の法人化に向けた作業及び法人化後の体制づくりに労力を要したことから更新作業ができませんでした。現在は職員を1名採用し体制が整いましたので、順次更新作業ができるものと考えています。

質問

観光ホームページのアクセス数の把握とジャンルの訪問者等の解析及び今後の施策展開について伺う。

答弁

観光ホームページは、日別・週別・月別・年間のアクセス数の把握や、アクセスしている内容・国別・市町村別の居住地・言語などを解析できる 구글アナリティクスを活用していますが、現段階では解析データをもとにした施策展開までには至っていません。これらのデータを活用し、より有効な情報発信ができるよう観光協会と協議しながら進めていきたいと考えています。





新星クラブ  
瀧 仁美 議員

**防災・減災について**

**質問**

災害時における市と町内会の連携、あるいはそれぞれの役割について伺う。

**答弁**

電話や直接訪問等で町内会に対し被災状況など情報伝達を行い、避難行動要支援者に対し安否確認と必要な支援や避難生活の支援を行うほか、自発的に防災活動を行う自主防災組織の立ち上げをお願いしています。

**要望**

今回の大地震により発生した大規模停電によって本市では防災メールが発信できなかったり、下水道関連のポンプがストップするなどし、結果的に通電により機能が回復し大事には至らなかったが、当市の災害における普段からの意識の低さが露呈された格好になった。日頃から災害時に備えレインタル事業者や各工事関係者等と発電機の手配が迅速にできるよう協定を結ぶよう今後の対応をお願いしたい。

**国道452号の整備について**

**質問**

国道452号線の整備に関わり、三段滝公園にあるトイレの在り方について伺う。

**答弁**

国道には、機会があるたびに三段滝公園の現状と再整備の必要性を訴えてきました。本年5月に国及び道と本市が開催した勉強会の中で国、道の双方から、トイレに特化した整備ではなく情報発信機能等を兼ね備えた「道の駅整備事業」として進めていくとの



新星クラブ  
大橋 二郎 議員

**市の財政状況について**

**質問**

本市の財政状況と将来に向けての課題を伺う。

**答弁**

平成30年度交付税算定結果を踏まえた今年度決算見込みは、財政調整基金へ備荒資金から5億円程度繰り入れなければならず、依然厳しい状況。今後も市税、地方交付税の減少は避けられない中、市立芦別病院の経営が悪化し、

提案をいただきました。今後は、国道及び本市に関連沿線自治体である三笠市、美唄市、富良野市を加えた勉強会を開催し協議を進めます。

**要望**

道道美唄富良野線が開通した場合の交通量は1日2100台とのこと。現在でも大型バスが止まった場合には、一般の利用者には大変な不便をかけているのが実情です。国や道に対して訴えてきた要望がようやく現実味を帯びてきた。1日も早い開設の実現に向けて協議を進めていただきたい。

**行財政改革の目的について**

**質問**

この行財政改革は、誰の為になぜ行うのか、その目的を伺う。

**答弁**

自治体運営の基本は健全な財政の確立にありま

持し福祉増進を図ることです。

**質問**

効率化や合理的見直しを行い、急激な変化を抑え市民負担を段階的に変化させる努力ができないか伺う。

**答弁**

現在の改革プランはたき台であり、議会の議論や市民からの意見をいただく中で十分精査検討し進めていきます。

**JR根室本線問題について**

**質問**

9月4日に行われた合同説明会の内容と、それを受け本市としてどう対応するのかを伺う。

**答弁**

国からはJR北海道へ2年総額400億円台の支援が示され、地方自治体等からも同水準の支援を求めています。今回具体的な負担規模や地方財政措置なども明らかでなく、極めて不十分なものと認識しています。

**質問**

国の考えを待つのではなく、情報を収集し、自治体負担を想定した中で路線を維持するのにかしないのか、市としての考えをまとめてはどうか伺う。

**答弁**

現状においては路線を維持していく考えであり、さらに沿線自治体と協力しながら進めていきます。

## 9月定例会の議決結果・議会の動き

9月10日、平成30年第5回市議会（定例会）が招集され、会期を27日までの18日間と定めて平成29年度各会計決算認定、平成30年度補正予算、条例制定・改正、人事案件などが審議されました。

### ■全員賛成の議案

議案	件名	結果	議案	件名	結果	
決算認定	平成29年度市立芦別病院事業会計	認定	報告案件	平成29年度決算に基づく健全化判断比率	報告済	
	平成29年度水道事業会計	認定		平成29年度決算に基づく資金不足比率	報告済	
補正予算	平成30年度介護保険事業特別会計	原案可決	意見書	「子どもの貧困」解消など教育予算確保・拡充と就学保障、義務教育費国庫負担制度堅持・負担率2分の1への復元、教職員の超勤・多忙化解消・「30人以下学級」の実現に向けた意見書	原案可決	
	平成30年度後期高齢者医療特別会計	原案可決				
条例改正	税賦課徴収条例等	原案可決			教職員の長時間労働解消に向け、「公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法（給特法）」の廃止を含めた見直しを求める意見書	原案可決
	特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担に関する条例	原案可決			介護保険制度の抜本的改革を求める意見書	原案可決
人事関係	教育委員会委員の任命（被任命者：水上博樹氏）	同意			児童虐待防止対策のさらなる強化を求める意見書	原案可決
その他	表彰条例に基づく被表彰者の決定（功労者：10名、善行者：1団体）	同意				
	過疎地域自立促進市町村計画の変更	原案可決				
	星遊館改修工事請負契約の締結	原案可決				
	星遊館改修機械設備工事請負契約の締結	原案可決				

### ■賛否が分かれた議案

○：賛成、×：反対、△：退席、欠：欠席、/：採決なし、議：議長

議案	件名	結果	大橋	瀧	石川	大鎌	北村	樋坂	松井	吉田	小川	池田	田森	日沼
			二朗	仁美	洋一	光純	真	直紀	邦男	博子	政憲	勝利	良隆	昇光
決算認定	平成29年度一般会計歳入歳出	認定	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	議
	平成29年度各特別会計歳入歳出	認定	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	議
補正予算	平成30年度一般会計（第4号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	議
	平成30年度国民健康保険特別会計（第2号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	議
条例制定	一般職の任期付職員の採用に関する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	議
条例改正	名誉市民に関する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	議
意見書	林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書	原案可決	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	議

### 議会の動き

平成30年7月下旬～10月下旬

#### 【7月】

- 23日 広報広聴委員会
- 31日 議会改革特別委員会勉強会①

#### 【8月】

- 2日 総務常任委員会  
議会会派代表者会議
- 5日 北海道150年記念式典（札幌市）
- 6日 道道美唄富良野線現場見学会（美唄市）
- 16日 根室本線対策協議会事務レベル検討会議（富良野市）
- 21日 総務常任委員会

- 22日 北海道市議会議長会道央支部協議会議員研修会（滝川市）

#### 【9月】

- 3日 正副議長・正副議会運営委員長会議  
議会会派代表者会議  
議会運営委員会
- 4日 4路線合同説明会（旭川市）
- 7日 議会会派代表者会議  
議会運営委員会
- 10日～27日 第5回市議会（定例会）
- 18日 総務常任委員会
- 19日 社会産業常任委員会  
議会運営委員会  
議会改革特別委員会

- （株）芦別振興公社経営問題調査特別委員会

20日～26日 決算審査特別委員会

- 20日 総務常任委員会
- 21日 議会会派代表者会議
- 25日 議会会派代表者会議
- 27日 広報広聴委員会

#### 【10月】

- 2日 全員協議会
- 12日 北海道市議会議長会道央支部協議会（岩見沢市）
- 17日 行政視察受入（千葉県流山市議会）
- 19日 広報広聴委員会
- 24日 広報広聴委員会
- 31日 総務常任委員会（学校視察）

# 地域防災について

このたびの震災により、被害を受けられました皆様に心よりお見舞いを申し上げますとともに、被災された地域の一日も早い復興を心よりお祈りいたします。

9月6日の午前3時8分頃に北海道胆振東部地震が発生し、芦別市でも震度4の揺れを感じましたが、幸いにも大きな被害はありませんでした。しかし、苫東厚真火力発電所の被災により、北海道内全域で停電となるブラックアウトが発生。市内でも地域によっては約2日間電気が使えない状態が続き、自然災害が少なくとされる本市においても、地域防災に対する意識を高めていく必要を再認識しました。

地域防災には、自らを守る「自助」、近隣で互いに助け合う「共助」、国や自治体の手を貸す「公助」という考えをもって当たりなくてはなりません。災害時に市役所や消防・警察による救助活動や支援物資の提供などの公的支援である「公助」が届くまでは、「共助」と「自助」によって自ら生命を守らなくてはなりません。そのためにも今回の震災を教訓

に、家具の転倒防止対策のほか、ブラックアウト時に自前で電気を発電できる設備や冬期間に最低限の暖をとれるような備えを平時のうちに準備しておくことが共助や自助につながります。

また、芦別市では地震発生直後にサーバーがダウンしたことで「あしべつ防災メール39」が発信できなかったこともあり、市内でも確約の無い情報しか手に入らない状況が続きました。多くの市民が不安を抱える中で個人のSNSを通してデマと正確な情報が混在して広ま

りました。今後そのようなことが起こらないよう、多数の議員の意見を反映していただき、芦別市としても防災情報をSNSで発信することとなりました。ぜひとも市民の皆様も被災時に正確な情報を得るためにツイッターで芦別市総務防災係をフォローしたり「あしべつ防災メール39」に登録して災害時に備えていただきたいと思います。

(樋坂直紀・北村真)



↑防災メール39のQRコード

※ツイッターの登録方法は、市公式ホームページをご覧ください。

## 「高校生と市議会議員との懇談会」を開催します

○日時 11月9日(金)午後1時30分

○会場 芦別市議会議事堂

※当日は、議事堂ロビーにテレビモニターを設置しますので、どなたでもご覧いただけます。

## 12月定例市議会のお知らせ

- 会期 12月13日(木)～21日(金)
  - 日程 13日(木)本会議(議案の提案)  
17日(月)本会議(一般質問)  
18日(火)本会議(一般質問)  
19日(水)・20日(木)常任委員会  
21日(金)本会議(議案の議決)
  - 開会時間 いずれも午前10時から
- ※日程・時間は、議会運営上変更する場合があります

## 編集後記

9月議会は決算審査特別委員会があり、2017年度の芦別市の評価がなされる場であり、本年度、荻原市長が進める行財政改革を実行するために必要なさまざまな条例の改正が行われる予定でした。しかし、現状は市立芦別病院の経営見通しが大幅に下方修正されたことにより行財政改革の推進についても大幅な修正が必要になっております。そんな中、紙面にも掲載の通り11人中10人が一般質問を行い、私を含め多くの議員が行財政改革についての市長の考えを伺いました。今後も人口減少が続く厳しい財政状況が予測されますが、芦別市の未来に真摯に向き合い希望を見出せるよう行政と議会が議論を深めながらこの難局を乗り越えてまいりたいと考えております。終わりになります。開かれた議会の取り組みを行ってまいりますので、ぜひとも一度傍聴いらしてください。

(北村)

芦別市議会広報広聴委員会

委員長 小川政憲

副委員長 石川洋一

委員 池田勝利、大橋二期、北村真

松井邦男、吉田博子